

主題：一主イエスの十字架上の七つのことば一

2022/6/8 (水曜日)

目標：一主の味われた苦難を知り、神のご計画と神の大きな愛を知る一

キリスト伝

マタイの福音書 27 章

ルカの福音書 23 章

ヨハネの福音書 19 章

## 「主イエスの十字架」

全くの神でありながら、全くの人であられた主イエスは、兵士の侮辱や辱め、権力者の嘲りなど、罪を犯させようとするサタンの妨害を受けながら、心の奥底まで見られる全能の父の御前に歩いていかれた。それは「敵を愛し、迫害する者のために祈れ」と人々に語られた通りの姿である。主イエスは救いの成就とその先にある栄光の復活を見つめておられた。それは十字架の下であざ笑う者たちの将来の滅びを見て、父なる神に赦しと取成なしの祈りをされたことでも分かる。溢れ、ほとばしる神の愛がここにある。

私たちは失敗したとき「そんなことは知らなかった！わからなかった！」と自己弁護し、言い訳をする。しかし主イエスは私たちがそう言う前に、「彼らは自分が何をしているのかが分かっていないのです」と先取りして、父なる神に取成して下さったのである。

更に人の罪を全て負い罪人となり、父なる神から捨てられたと叫ばざるを得ない処まで主イエスは降って下さった。ここに私たちの罪の赦し、義と認められる土台がある。

### [聖書の学び]

#### I、十字架上の第1言と、2言

- 1、主イエスの十字架の両側には、二人の強盗と一緒に架けられました。彼らは始め主イエスに何と書いていましたか？ (マタイ 27:43,44)
  - 2、長い間黙っておられた主イエスは、十字架上で始めて言葉を発せられました。何と言われたのでしょうか？ (ルカ 23 : 34)
  - 3、主イエスを真ん中にして、両側の犯罪人たちに変化が起こりました。何が起きたのでしょうか？ (ルカ 23 : 39~43)
- ①片方の犯罪人が始めと同じように主イエスに言ったことに対して、もう一方の犯罪人は何と言いましたか？ (ルカ 23 : 39~40)
- ②また彼は、主イエスに向かって何と言ったのでしょうか？ (ルカ 23 : 42)
- ③十字架上で主イエスは彼にどのように言われましたか？ (ルカ 23 : 43)

## Ⅱ、十字架上の第3言と、第4言(ヨハネ 19：26～27、)

1、主イエスは十字架のすぐ下に来て泣いている母マリヤと弟子のヨハネにどのように言われましたか？ (ヨハネ 19：26～27)

①マリヤには――

②ヨハネには――

かつてシメオンが預言した通り、胸を剣で刺し通されるような思いをしている母に、自分に代わる新しい親子関係を作られた。

2、午後3時頃になった時、主イエスが突然大声で叫ばれました。

(マタイ 27:46)

①何と叫ばれたのでしょうか？

②なぜ、そのように叫ばなければならなかったのでしょうか？

③主イエスが父なる神から捨てられなければならなかった理由は何でしょうか？

## Ⅲ、十字架上の第5、6、7言

1、主イエスの十字架上の第5言は、ヨハネ 19:28 です。

①すべての事が完了したこと知られた時――「わたしは渇く」と言われた。

小島伊助師のコメント 天候不順の中、飛行機が着陸に成功したとき、パイロットは喉が渇いたことを感じるという。父なる神から罪人の身代わりに捨てられ、救いが完了したとき、主イエスは喉が渇いたのではないだろうか！?

②聖書のみことばの成就――詩篇 69：21 のみことばの通りになるため。

2、十字架上の第6言は救いの完成・完了の宣言です。(ヨハネ 19：30)

3、十字架上の第7言は、主イエスの人としての最後の言葉です。

※主イエスは最も確実で安全な方にご自分のいのちを預けられ、この後、復活のいのちとして再び受けるという確信の言葉です。(ルカ 23：46)

\* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日の学び、主イエスの十字架について、あなたはどう思いますか？